

令和4年6月25日  
男女共同参画センター

1 日時 5月20日(金) 19:00~20:45

2 出席者 委員10名(遠藤壽子、岡田治美、佐々木茂文、佐藤沙耶、倉持若葉、  
長尾清美、木村美由紀、新橋嗣男、望月覚、國武智子)  
事務局3名 ※欠席委員(3名)、傍聴者(なし)

3 委嘱状交付

白石町民活動課長から新任委員2名に交付

・佐々木 茂文 委員(区長会) 令和4年4月1日~令和5年3月31日

・木村 美由紀 委員(あみ・男女・まち・ねっと)

令和4年4月1日~令和5年3月31日

4 あいさつ

(1) 遠藤会長

- ・コロナ禍の影響もあり、一堂に会するのは久しぶりである
- ・できる限り、直接会って話し合える環境のもと、広く皆さんの意見を聞いて行きたい

(2) 白石町民活動課長

- ・町の情勢報告(コロナ感染状況、職員の不祥事、阿見町第4次男女共同参画プラン、6月定例町議会)
- ・DV相談の難しさ(連携が大切)

5 自己紹介

出席者全員

※各委員の発言メモ

岡田：昨年までは何をやる会かわからない状況だったが、今年は皆で実のある活動をし  
っかりやりたい

佐々木：区長会を代表してきているが、女性区長は1名というのが現状、男女共同参画  
についてこれまでの人生の自戒を踏まえつつ活動して行きたい

佐藤：せっかく委員になったものの、昨年はコロナ禍もあり何も経験できなかったので、  
今年はいろいろとやりたい

倉持：看護学科で看護師の世界は女性が働くのが当たり前といった環境で学んでいるの  
で、そのことを活動に活かして行きたい

長尾：「ステップアップAMI」に所属しているが、これまで協議会にはいるだけの感はあ  
ったものの、今年はがんばりたい

木村：「あみ・男女・まち・ねっと」に入っているいろいろと刺激を受けているが、協議会に参加することで受けるさらなる刺激を、今後の出前講座等に活かしたい  
新橋：いろいろな面で世界に負けている感がある中、様々なプランの実行が大切であり、その実現に向けて一翼を担えるようにしたい  
望月：企業代表の意識で活動しており、人事担当として、令和元年には弊社工場見学を通じて女性の働き方・活躍を紹介し、また、今年度も講座を準備しているところ  
國武：昨年は茨大の長谷川氏の講演が勉強になったが、今年もいろいろ情報を得たい

## 6 内容

### (1) 令和3年度事業報告について

事務局より、資料1（男女共同参画に係る制度及び組織の概要）についての説明後、  
令和3年度事業について報告

<意見>

- ・特になし

### (2) 令和4年度事業計画（案）について

事務局より令和4年度事業計画について説明

#### ①運営協議会について

- ・年5回開催

#### ②小・中生意識調査について

- ・町内の小5及び中2を対象に3年ごとに実施し、今回が3回目
- ・事務局より「本事業は今年度の活動の多くを占めるものと考えている。分析・検討にあたって協力をお願いします。」旨の要請を行い、各委員の承諾を得た。

#### ③啓発活動について

- ・「センターだより」発行（年3回）、パネル展（年2回）
- ・「さわやかフェア」について、コロナ禍により過去2か年未開催であったが、今年度開催が見込まれる場合は参加予定

#### ④出前講座（男女共同参画推進団体「あみ・男女・まち・ねっと」と協働）について

- ・通年募集 ※依頼があり次第、「あみ・男女・まち・ねっと」に開催を依頼予定

#### ⑤センター講座について

ア. 第1回 親子マネー教室「キッズ・マネーすごろく」 8/27（土）

事務局より、実施理由及び実施概要について説明

<意見>

- ・特になし

イ. 第2回 町内企業出前講座「ものづくりの楽しさを味わおう!!（～仕事も育児もどちらも大事～） 9/10（土）

講師予定の望月委員より、実施理由及び実施概要について説明

<意見>

- ・女性の働き方の紹介を含めて講座内容に関心がある
- ・委員と一緒に活動して意見交換する場が必要と考えているが、今回は良い機会ととらえ、委員も参加してよいか⇒参加可能（望月委員）

ウ. 第3回以降について

事務局より、候補及び資料を提示し、説明

【第3回】メディアリテラシーについて

⇒次回までに事務局は開催案を提示する

<意見>

- ・現在の情報社会（特に SNS の世界）において、子供だけでなく大人もフェイクニュースか否かを見極める力はますます重要になる、
- ・いろいろなケースのもと、話し合いの場を設ける形式が良いのではないか
- ・親世代が最悪と聞く、対象は子育て中（高校生や大学生であってもよいのでは）の保護者か⇒検討する
- ・中学校でも授業としてやっているようだが状況を聞いてみる
- ・成田委員（茨城新聞社）がいるので聞いてみてはどうか

【第4回以降】⇒次回の検討課題とする

<意見>

-貧困-

- ・ボランティア活動を通じて、貧困の連鎖について関心を持つようになった
- ・貧困というと単に助けるだけの発想になりがちだが、貧困の連鎖を断ち切るための相談場所、ヒントになりうることを多少なりとも提供できないか
- ・講座として企画するとなると工夫が必要になる
- ・貧困問題に関係する NPO 法人にもあってみてはどうか

-企業が求める人材（特に学生）-

- ・企業の採用担当からすると、コミュニケーション力、ストレス耐性、課題解決能力といったところだが、その具体的な視点・解釈については企業と学生でズレがあるのではないか
- ・オンライン面談の機会が増え、本来の面接とは状況が異なる、模範解答ではダメで何をしてくれるかが大事
- ・18歳に成人年齢が引き下げられたが、男女共同参画社会に向けて若い人がどのように絡んでくれるのかも知りたいところ
- ・具体的に紹介する用意はある⇒学生を集めるのはむずかしいのではないか⇒講座とするにはもう少し工夫が必要

-ストレス-

- ・ひきこもりなどから、ストレス社会への対応についてテーマにならないか

- ・学生以外に社会人にもニーズがあるのではないか

-成人年齢引き下げ-

- ・対象が限定的になるか
- ・お金や契約といった話題となると親の関わりもあるので対象が広がるのではないか

-防災-

- ・性差、プライバシー、感染症対策、介護など、家庭内防災も含めテーマになるのはないか
- ・阿見町は防災士ががんばっているので、出前講座でもよいのではないか
- ・これまで定期的に防災をテーマに講座をおこなっているところだが、災害は忘れたころにやってくるので、数年ごとに行う方向がよいのではないか

-異文化理解-

- ・国際交流に関心がある
- ・中国の例が提示されているが、ロシアやウクライナは可能か

(3) その他

①自由討議

<意見>

- ・協議会が活発な意見交換の場としたい、また、一緒に何かできると良いと考えている
- ・講座については委員から周りへの声かけも大事、このことがきっかけで参加へのハードルが下がることも期待される
- ・男女共同参画 もっと幅を広げて行く必要がある
- ・男女共同参画 女性を全面に出すと、考え方によっては女性が優先される社会ととられかねない
- ・当協議会の委員数において、男女間のバランスをとりつつ、若い男性の意見も聞けるようにしてはどうか⇒次回に向けて参考にする（白石町民活動課長）

②次回の会議について

7月8日（金） 19：00～ （阿見町中央公民館 第2会議室（3F））

- （内容） ア. 講座について  
第3回以降の講座について  
イ. パネル展について  
ウ. その他